

『松竹梅の美術史』

- 竹浪 遠 編
- 中央公論美術出版
- 2023年

縁起が良いとされる
歴史に迫りましょう！

2 0 2 5

『pen BOOKS 蔦屋重三郎とその時代。』
● ペン編集部 編 ● CCCメディアハウス
● 2024年

2月21日開催のカレッジ関連展示として、コンラッドの傑作『闇の奥』から広がる多様な世界を本とともに紹介します。

2025年1月25日発行の広報誌では、2月8日から始まる特別展「実録 桜田門外の変」についての詳細や「歴史」にちなんだインタビュー記事、近隣情報を掲載しています。広報誌は千代田区内公共施設で配布しています。また、公式ホームページからもダウンロードできます。

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。
最新情報は、ホームページ等をご確認ください。

お問い合わせ先:千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>



〔都営地下鉄〕
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕
●丸ノ内線
●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」 徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場は
ございません。公共交通機関を
ご利用下さい。



1・2月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

1/13
(月・祝)

古書で紐解く近現代史セミナー第48回 海を渡った「後藤新平文庫」 ー 知られざる日本と台湾の文化交流史

講師：伏見 岳人(東北大学大学院法学研究科教授)

2023年、台湾で、新たに後藤新平の旧蔵書について、本格的な調査が行われました。戦前の台湾総督府図書館につながる国立台湾図書館で保存されていたこの文庫は、どのような経緯で、設けられたのでしょうか？2024年12月開催の国立台湾図書館110周年記念イベントについて報告します。

■ 日時：1月13日(月・祝)14:00～15:30(13:30開場)
■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



台湾総督府図書館
(『台湾拓殖画帖』/1918年)

1/24
(金)

展覧会への入口講座 Vol.43 「柳宗悦と仏教美学」 ー「信と美」をめぐる柳思想の終着駅

講師：杉山 享司(公益財団法人日本民藝館 常務理事・元学芸部長)

民藝運動の創始者で思想家の柳宗悦が、晩年に提唱した仏教美学。これは浄土思想に基づく美学の集大成であり、自らの美的体験に深く根ざすものでした。本講座では、柳の「茶と美」に関する考えに触れながら、「美の宗教」とも称される柳の哲学を支えた仏教美学について紹介したいと思います。

■ 日時：1月24日(金)19:00～20:30(18:30開場)
■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



柳宗悦(1954年)
©日本民藝館

1/30
(木)

星のソムリエ® 星空教室 ～天文学史編 第3回「見えてきた宇宙、その先へ」

講師：皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)
北崎 直子(星のソムリエ®みたか)

現代に生きる私たちは、長い歴史に渡る多くの天文学者らの努力や叡智を受け継いで宇宙を理解できるところまで到達しました。今年度の「星空教室」は、現代につながる宇宙科学の歴史を「人物」を軸に学びます。第3回は、アインシュタインの理論を使った現代の天文学者たち、未来へと続く道を切り拓いた天文学者をたどります。

■ 日時：1月30日(木)19:00～21:00(18:30開場)
※途中休憩が入ります ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



Albert Einstein
writing on a blackboard
in Pasadena (1931)

2/1
(土)

フェイクニュースが拡散されるいま、 求められるリテラシーとは

講師：山口 真一(国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 准教授)

ニュースでもよく耳にする「フェイクニュース」や「生成AI」について、事例とデータをもとに解説します。凄まじい速さで情報が拡散されていく現代、誰もが情報の発信者となり得る中で、偽情報に騙されないためのリテラシーを学びましょう。



■ 日時：2月1日(土)14:00～15:30(13:30開場)
■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員：200名 ■ 参加費：1500円

2/7
(金)

千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座Vol.44 美術の視点で見直すアプリケ作家・ 宮脇綾子の造形

講師：富田 章(東京ステーションギャラリー館長)

アプリケや手芸に分類される宮脇綾子の作品は、枠に収まらない豊かな世界を作り上げています。野菜や魚など、徹底的に観察し、割って断面をさらし、分解して構造を確かめるー。たゆまぬ研究の末に生み出された作品は繊細な感覚でいのちの輝きを見事に表現しています。本講座では、宮脇芸術の新たな魅力を発見します。



《切った玉ねぎ》
豊田市美術館、1965年

■ 日時：2月7日(金)15:00～16:30(14:30開場)
■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)

2/13
(木)他

ジェンダーについて考えよう vol.2 実証経済学からみるジェンダー格差(全2回)

講師：牧野 百恵(日本貿易振興機構アジア経済研究所 主任研究員)

最近の経済学では、ジェンダーにまつわる様々な問題の分析・実証が盛んに行われています。思い込みや規範がジェンダー格差に与える思ってもみなかった影響をエビデンスとして明確に提示する「実証経済学の魅力」を分かりやすく紹介します。



■ 日時：2月13日(木)19:00～20:30(18:30開場)
第1回「因果推論の考え方」
2月27日(木)19:00～20:30(18:30開場)
第2回「思い込みや社会規範のもたらす影響」

■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員：200名 ■ 参加費：各回1000円 ※各回お申し込み可能です。

予告

特別研究室企画展示

内田嘉吉文庫に見る 19世紀の装飾本



左：『Friedrich der Grosse.』(1925年)
右：『Glimpses of unfamiliar Japan.』(1896年)

製本は、1850年頃を境に職人の手作業から市販することを目的とした版元製本に移行しました。これにより、それまでの革装からクロス装や紙装の本が多数を占めるようになりました。本企画では、内田嘉吉文庫所蔵の、版元製本移行後に発行された装飾に特徴のある洋書を展示し、国や地域によるデザインの特徴を紹介します。あわせてこれらの影響を受けたと思われる日本の洋式製本による装飾本も展示します。

● 主な展示資料(予定)
『Napoleon et son temps』(1896年)、パリ 『A narrative of a journey to the capitals of Japan and China』(1863年)、ロンドン 『Ainu life and lore』(1927年)、東京 ほか
● 期間：2025年1月21日(火)～3月31日(月) ● 開室時間：平日10:00～20:00 土曜10:00～18:00 日曜・祝日10:00～16:00 ● 会場：4階特別研究室 入場無料

日比谷オペラ塾

名作オペラの魅力、再発見(全3回)

2024/2025シーズンのテーマは、「名作オペラの魅力、再発見」と題して、もう一度、名作と言われるオペラの魅力を、さまざまな角度から再発見したいと思います。2月は、明治大学教授の辻昌宏氏が、モーツァルトの『フィガロの結婚』の魅力を語ります。
(主催：フェニーチェ劇場友の会)



ヴォルフガング・モーツァルト
(1756-91)

■ 日時：2月20日(木)19:00～20:30(18:30開場)
第2回 モーツァルト『フィガロの結婚』
講師：辻 昌宏(明治大学教授)
3月27日(木)19:00～20:30(18:30開場)
第3回 ベッリーニ『ノルマ』
講師：井内 美香(オペラ・キュレーター)
■ 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■ 定員：60名 ■ 参加費：各回1500円

2/21
(金)

アフリカを知るタベ：映画「地獄の黙示録」の原作『闇の奥』とその舞台コンゴ 英文学の原田範行さん、WFPの津村康博さんが語る

講師：原田 範行(慶應義塾大学文学部教授)

津村 康博(WFP国連世界食糧計画日本事務所代表)

2025年夏、日本でアフリカ開発会議も開催され、注目のアフリカ。世界文学史に異彩を放つ傑作コンラッド『闇の奥』の舞台はコンゴでした。『闇の奥』を入口に、前半はアフリカへの旅は文学にどう描かれたのか、作品と背景について、後半はコンゴ等で国連職員として食料支援に携わった経験から今のアフリカの食料事情等をお話いただきます。

■ 日時：2月21日(金)19:00～21:00(18:30開場)
■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員：200名
■ 参加費：2000円 学生1000円(学生証をお持ちください)



津村康博

2/22
(土)

特別展関連講座①

「彦根藩世田谷領の人々と桜田門外の変」

講師：角和 裕子(世田谷区立郷土資料館学芸員)

江戸時代、現在の世田谷区域には、近江国彦根藩の飛地領(彦根藩世田谷領)が存在しました。彦根藩世田谷領の人々にとって、領主である井伊直弼が殺害された桜田門外の変は大きな衝撃だったことでしょう。本講座では、世田谷代官の妻が書いた日記や、村々に残された史料から、事件が起きた当時の世田谷領内の様子や、井伊家の菩提寺である豪徳寺での直弼の葬儀準備をはじめとした事件後の動向も取り上げながら、世田谷の人々から見た桜田門外の変を紹介します。

■ 日時：2月22日(土)14:00～15:30(13:30開場)
■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



大場美佐の日記
(大場代官屋敷保存会所蔵)

From Chiyoda Public Library【千代田区立図書館からのお知らせ】

〈展示〉「東京歯科大学 推しの99冊」

● 日時：開催中～2025年2月22日(土)
● 会場：千代田図書館9階 展示ウォール ● 協力：東京歯科大学

◆古文書塾てらこや本講座

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開催します。



	講座名	曜日・時間	実施日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30～	1/6
		(月祝) 13:30～	1/13
		(火) 10:30～	1/14
		(木) 13:30～	1/9
		(金) 13:30～	1/10
		(金) 18:30～	1/10
本科コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(土) 10:30～	1/11
		(火) 10:30～	1/7
		(火) 13:30～	1/7
		(日) 13:30～	1/12
		(火) 13:30～	1/14
		(火) 13:30～	1/8
特別講座 90分	古文書の保存・修復の知技能ー古文書保存のセラピスト講座	(火) 13:30～	1/14
		(火) 13:30～	1/8
		(木) 10:30～	1/16
		(土) 13:00～	1/11
		(火) 19:00～	1/7
		(水) 13:30～	1/15
特設1回 コース90分	江戸を楽しむー江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	1/16
		(金) 18:30～	1/17
		(土) 13:00～	1/18
特設1回 コース90分	ハーバード大学本『源氏物語 須磨』の変体仮名を読む	(土) 13:00～	1/18
		(土) 15:30～	1/18

■ 会場：4階スタジオプラス、セミナールーム ■ 定員：各講座23名(申込順) ■ 費用：参加費(初回一括払い)：【入門コース】【本科コース】16,800円(全5回/各回120分/資料代500円)【特別講座】13,650円(全5回/各回90分/資料代500円)【特設・月1回コース】8,190円(全3回/各回90分/資料代300円) ※特設・月1回コース『『源氏物語 須磨』の変体仮名を読む』は、『ハーバード大学本 源氏物語 須磨』(新典社 1,760円税込)を、また「陽明文庫旧蔵『百人一首』の変体仮名を読む』は、『変体仮名翻字版 百人一首』(コピー版(600円税込))をそれぞれテキストとして用います。(当館でのご用意も承ります。)※てらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。■ 資料請求・体験講座のお問い合わせ：電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館代表 古文書塾てらこや担当迄

千代田区ミュージアム連絡会紹介コーナーができました



千代田区ミュージアム連絡会紹介コーナー
(3階エレベーターホール)

千代田区ミュージアム連絡会は、区内に所在する博物館などの施設が互いに連携・協力し、文化・芸術の振興を目的として様々な活動をしています。当館3階に新設した紹介コーナーでは、展示をはじめ、チラシ・サイネージなどで参加館の情報を発信しています。



千代田区ミュージアム連絡会ページー

特別研究室企画展示

『江戸名所図会』に見る行楽と商い



富士見茶亭
(『江戸名所図会』/ 1836年)

特別研究室所蔵の江戸の風俗や名所を図版とともに紹介している『江戸名所図会』(斎藤月岑 編輯・長谷川雪旦 画)から当時の行楽地や今では見られなくなった商売の様子を紹介します。人が集まる寺社や行楽地ではさまざまな商売が始まり、名物となったものもあります。人々で賑わう場所ではどのような商売が行われ、どのように変わっていったのかについて展示資料を通して考察します。

● 主な展示資料 … 『江戸名所図会』、『諸国六十余州名所図会』ほか
● 期間：開催中～12月28日(土) ● 開室時間：平日10:00～20:00
土曜10:00～18:00 日曜・祝日10:00～16:00 ● 会場：4階特別研究室

入場
無料

健康の基礎となる口腔をケアしてくれる歯医者さんが、実は一番身近でお世話になる“お医者さん”かもしれません。展示では、千代田区内にある東京歯科大学教職員と歯学部 of 学生さんたちのお薦めの本を紹介。専門書だけではなく、趣味の本、小説やエッセイなど意外な選書も楽しめます。